

科 目	技術史 (History of Technology)			
担当教員	中辻 武 教授			
対象学年等	全専攻・2年・前期・選択・2単位			
学習・教育目標	C2(60%) D2(40%)		JABEE基準1(1)	(a),(d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(g)
授業の概要と方針	機械工学の技術史を把握するとともに、様々な分野の技術計算ができ、技術を文化史的発展の中で捉えられるような素養を身に付けると共に、発想ツールとの関連を確認する。また、自身の研究テーマの歴史的認識を深める。			
	到達目標	達成度		到達目標毎の評価方法と基準
1	【C2】機械工学のそれぞれの技術分野における歴史的認識ができる。			歴史的認識を毎週の課題の解答提出で確認する。
2	【C2】古代から現在までの様々な技術計算ができる。			技術計算できることを毎週の課題の解答提出で確認する。
3	【D2】各民族の文化性の違いと技術的発想の違いを理解する。			技術的発想の違いを感想文で評価する。発想ツールとの関連を把握できたか、感想文で確認する。
4	【C2】各人の研究テーマの歴史的認識を深める。			各人の研究テーマのレポートで評価する。
5				
6				
7				
8				
9				
10				
総合評価	成績は、レポート60%、感想文40%として評価する。毎週の課題の解答提出を前提（未提出の場合はその分、評価点からマイナス1点）とし、評価は各人の研究テーマの進展史のレポートを60%、感想文を40%で行う。100点満点で60点以上を合格とする。			
テキスト	オリジナルテキスト配布			
参考書	「技術文化史12講」下間頼一著（森北出版）			
関連科目	トライボロジー，機械設計，材料工学，機械工作法，流体力学，工業熱力学，物理，化学，数学，電気工学			
履修上の注意事項	関連科目：トライボロジー，機械設計，材料工学，機械工作法，流体力学，工業熱力学，物理，化学，数学，電気工学。これらに使われている基礎計算を行う。			

[illegible]